

自分で学ぶ 仲間と学ぶ

校庭の大イチョウの若葉が日に日に大きくなり、少しずつ大きな木の輪郭を描きつつあります。一つ一つは小さな葉っぱですが、その一枚一枚には力があって、一日一日精一杯伸びています。

地御前小学校でも、子ども達が入学・進級し、新しい年度がスタートしました。子ども達は、とても素敵な挨拶をしています。新しい学年で、気持ちを新たに、自分らしくスタートを切っているようです。少しずつ新しい学級に慣れて、その学級の輪郭が少しずつ見えてきます。一人一人はまだまだ小さな子どもですが、その一人一人には力があって、個性もあって、一日一日精一杯伸びています。

本年度の学校教育目標を、「自ら学び、解決していく力を身に付けている児童の育成」としています。始業式の話で、「自ら学び、解決する」とは、「自分で学ぶ」「自分で選ぶ」「自分で進める」ことである、そこで強い味方となるのが、担任や担当の先生方であり、学級・学年・学校の仲間だということを話しました。

「令和の日本型学校教育」で目指す姿は「全ての子ども達の可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現」としています。地御前小学校での授業の中でも、自分で決めて、自分で選び、進めていくような場を少しずつ増やしていきます。タブレットやオンライン等の活用もこれまで以上に推進していきます。

子ども達は自ら伸びる力をもっています。「学ぶ」とは「自分や仲間と選んで、進めていくことだ」と自覚をしたときに、子ども達の力がぐんと伸びます。自分を信じてもらい、任されたときに、子ども達はとてもいい顔をします。自信にあふれます。そういう学びの場を学校でしっかりと準備していきたいと思えます。

本年度もご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

校長 戸崎志乃婦

